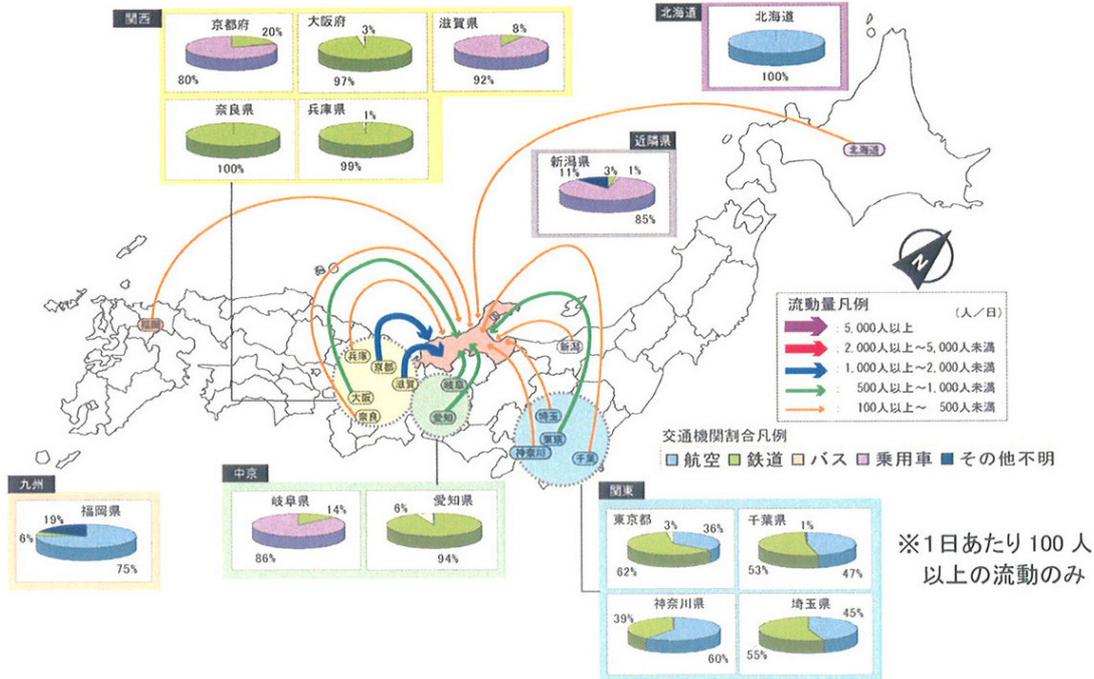


観光を目的とした北陸三県への流動（平日）

- ・観光目的では京都府、滋賀県など関西からの流動がもっとも多く、次いで、岐阜県、愛知県などの中京、東京都などの関東からの流動がみられる。
- ・関東、九州、北海道からは航空が比較的多く、関西や中京では鉄道、近隣県からは乗用車が多い。

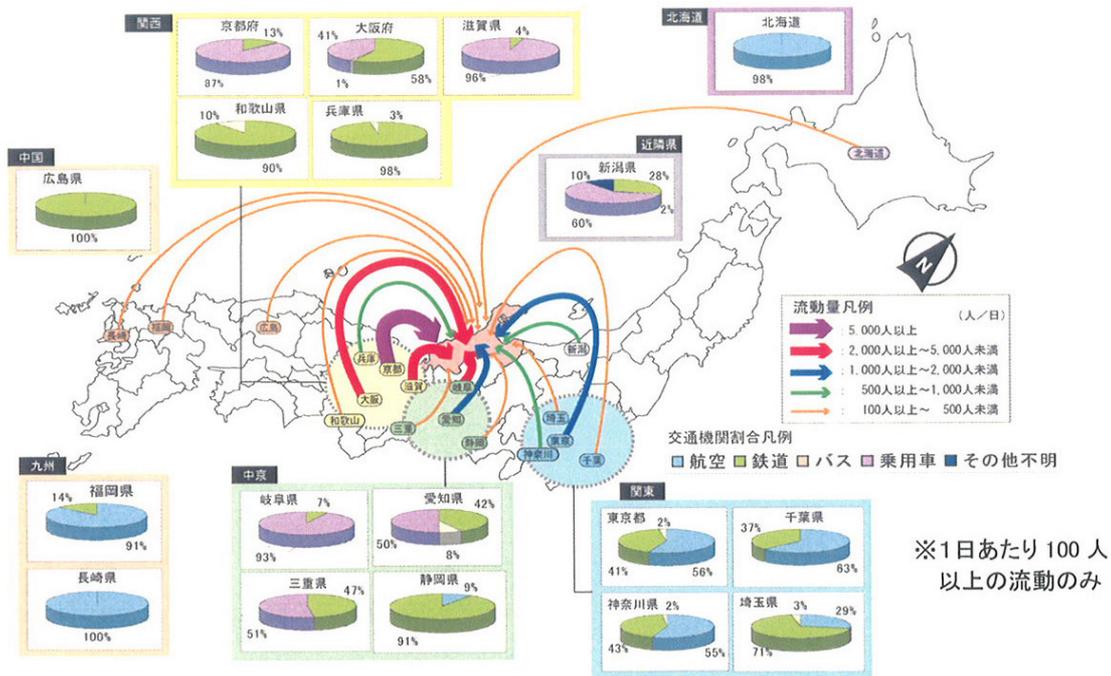
図 1-11 観光を目的とした北陸三県への流動量と交通機関割合（平日）



観光を目的とした北陸三県への流動（休日）

- ・休日は流動量が多くなり、京都府、滋賀県、岐阜県などの近隣県のほか、大阪府や東京都、愛知県の三大都市圏からの流動がみられる。
- ・交通機関の利用割合については平日と同様の傾向である。

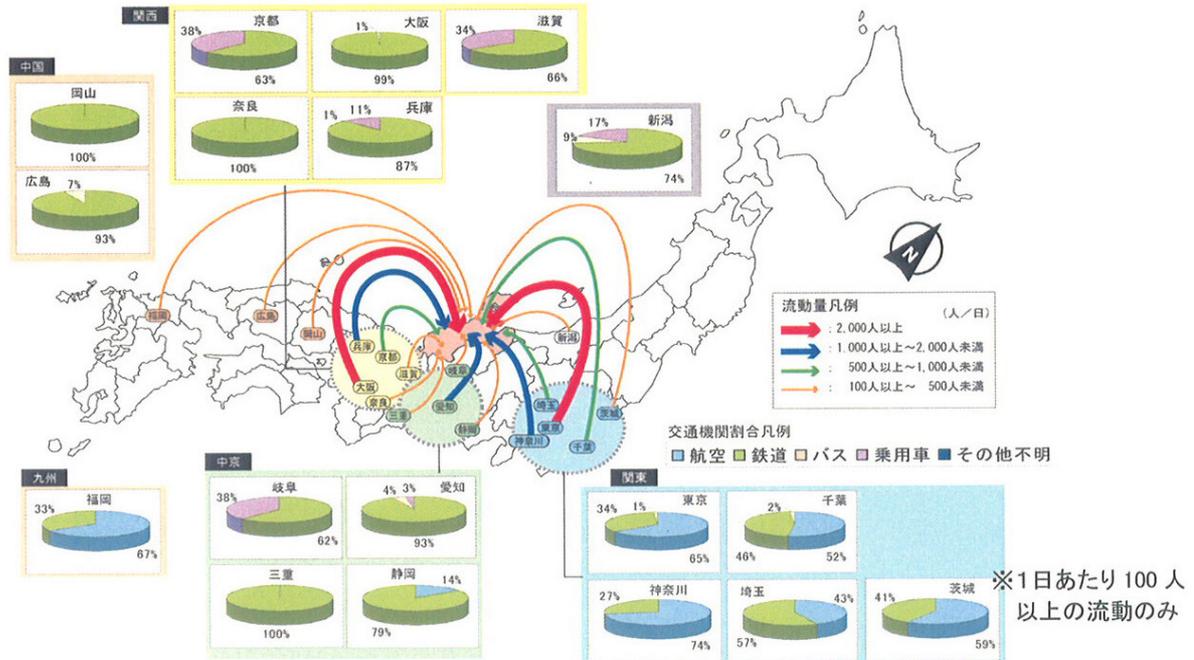
図 1-12 観光を目的とした北陸三県への流動量と交通機関割合（休日）



仕事を目的とした北陸三県への流動（平日）

- ・ 仕事目的では大阪府、東京都からの流動がもっとも多く、次いで神奈川県、愛知県、兵庫県など関東、中京、関西からの流動が見られる。
- ・ 交通機関は関東、九州では航空が比較的多く、その他の地域では鉄道の占める割合が高い。

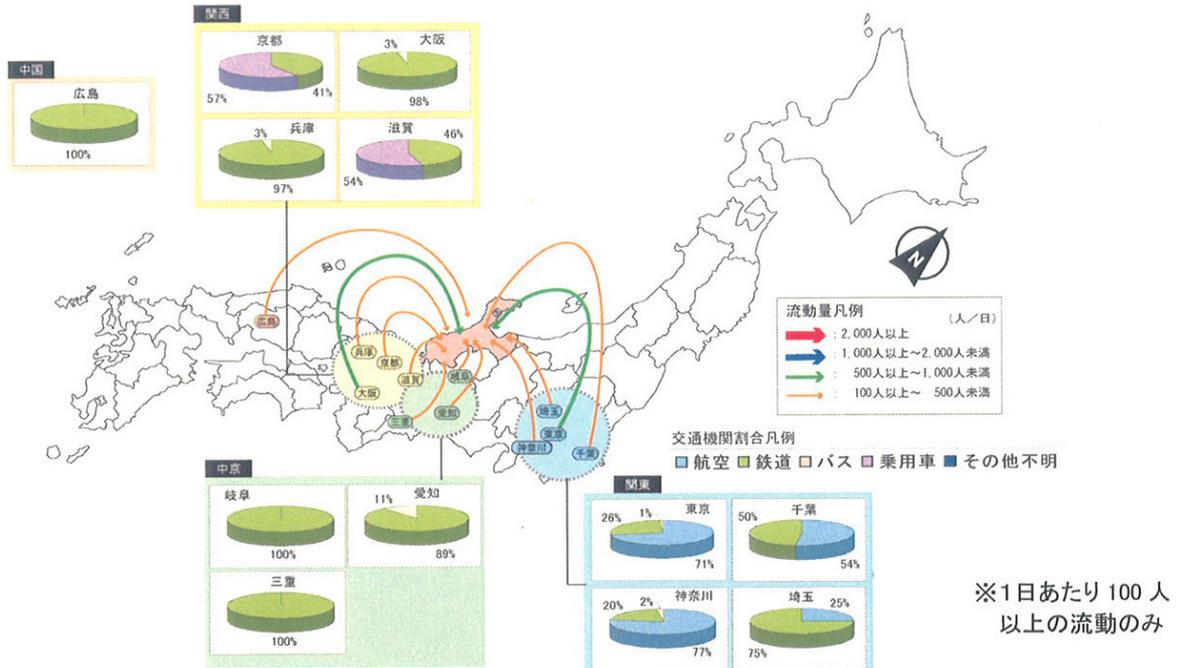
図 1-13 仕事を目的とした北陸三県への流動量と交通機関割合（平日）



仕事を目的とした北陸三県への流動（休日）

- ・ 平日に比べると少ないが、出発地の傾向はほぼ同様である。
- ・ 交通機関は平日と同様、鉄道、航空が多いが、京都府、滋賀県では乗用車利用が多い。

図 1-14 仕事を目的とした北陸三県への流動量と交通機関割合（休日）



(3) 北陸圏外からの人的交流の実態(アンケート調査より)

北陸での滞在は1泊2日が多く、ビジネス目的の方が観光を行う割合は24%

- ・北陸での滞在は1泊2日が56%と多く、次いで日帰り19%。2泊3日18%である。(図1-15)
- ・観光でみると、石川県および2県以上を訪れた方は2泊3日の滞在が多い。(図1-16)
- ・旅行に占めるツアー旅行の割合は38%であり、ビジネス目的の方が観光を行う割合は24%である。(図1-19・2-20)

観光行動は名所・旧跡を訪ねる旅や温泉が多く、50代前後の割合が高い。

- ・北陸を観光で訪れた方の観光行動は、名所・旧跡を訪ねるが最も高く42%、次いで買い物・飲食が34%、温泉が31%である。(図1-21)
- ・年齢層では、50代・60代が最も多くそれぞれ27%、次いで40代が21%であり40~60代を合わせると75%を占める(図1-22)

初めての方が少なくリピーター率が高い

- ・観光目的で訪れた人は、初めて訪れた人は8%、4回以上が72%とリピーターが多い。(図1-23)
- ・目的地では石川県に訪れた旅行者は初めての方が15%と多い。発地では首都圏の方は初めての方が10%と比較的多く近畿圏、中部圏の方はリピーター率が高い。(図1-23・1-24)
- ・ビジネスではリピーター率が観光と比べて高い。(図1-25)

新幹線開業により観光で訪れる機会が増えると考えている人が約半数

- ・新幹線開業による訪問機会の変化は52%が増えると考えており、観光の割合が高い。また2地域居住に対するニーズも41%と高い。(図1-27・1-30)

特に観光目的において、北陸の複数県を訪れる周遊パターンがみられる

- ・観光で富山県を訪れた方は、富山県内および石川の金沢市周辺エリア、和倉・七尾・羽咋エリア、加賀温泉・小松エリアに立ち寄る率が高い傾向にある。(図1-32~34)
- ・観光で石川県を訪れた方は、石川県内および富山県西部(高岡・氷見エリア、五箇山・砺波・城端エリア)、福井県嶺北(東尋坊・三国・芦原温泉エリア、永平寺・勝山・大野エリア)に立ち寄る傾向がある。(図1-35~37)
- ・観光で福井県を訪れた方は、福井県内および石川県加賀地域(金沢市周辺エリア、加賀温泉・小松エリア)に立ち寄る傾向がある。(図1-38~40)

二次交通の不便さ、観光地における情報・ガイド不足が挙げられている

- ・北陸観光に不足しているものとして地域内でのアクセスの不便さが指摘されている。(図1-50)
- ・観光情報の提供やガイドについて約2割の旅行者が不満を感じている。(図1-51)

北陸における移動・旅行に関するアンケート調査の概要

調査日時	平成20年11月16日(日)、11月20日(木) 7~16時
調査対象	北陸圏域外居住者(メインターゲット)、北陸圏域内居住者
調査方法	調査員が交通結節点でアンケートを配布、郵送による回収。
調査箇所	JR鉄道駅: 富山駅、高岡駅、金沢駅、加賀温泉駅、福井駅、敦賀駅 空港: 富山空港、小松空港、能登空港
17箇所の交通結節点	SA: 南条SA、尼御前SA、小矢部SA、有磯海SA、城端SA、舞鶴PA 道の駅: 道の駅高松、道の駅しらやまさん、道の駅細入、道の駅九頭竜
配布/回収	配布数: 25,526票 回収数: 北陸圏外1,570票、北陸三県内2,237票、合計3,807票

図 1-15 北陸圏での滞在日数

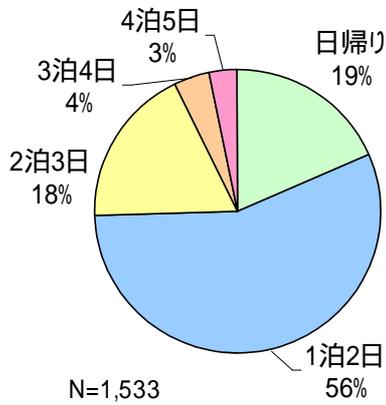


図 1-16 観光目的の滞在日数

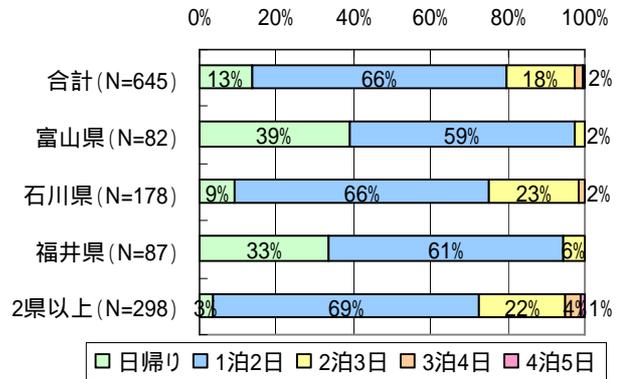


図 1-17 仕事目的の滞在日数

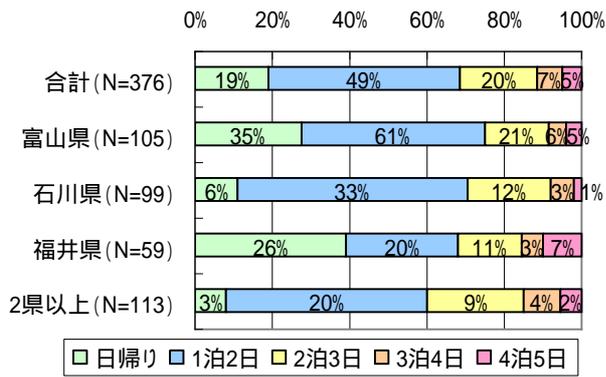


図 1-18 私用目的の滞在日数

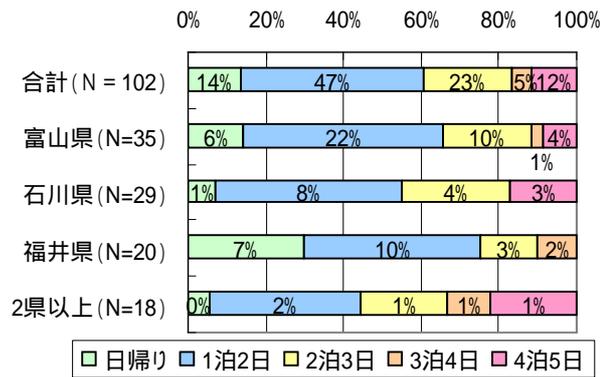


図 1-19 ツアー旅行の割合

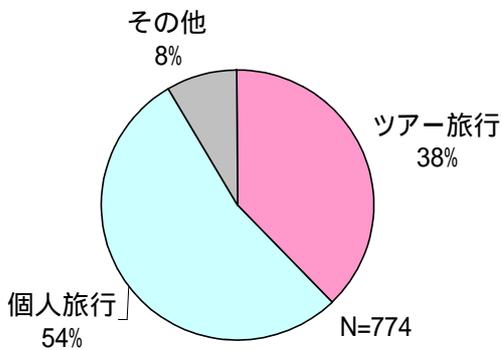


図 1-20 仕事目的で北陸を訪れて観光を行った人数

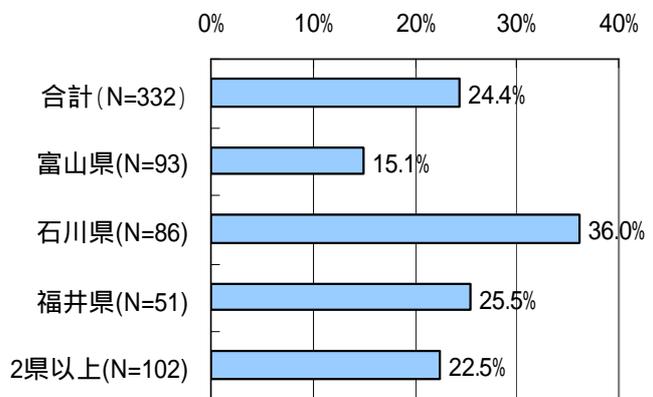


図 1-21 観光目的で北陸圏を訪れた人の主な観光行動（上位5つ）

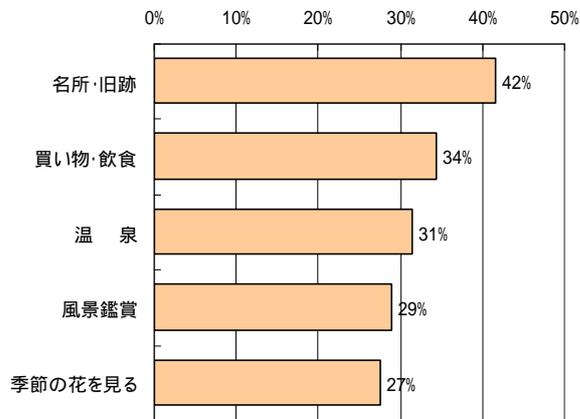


図 1-22 観光目的で北陸圏を訪れた人の年齢層

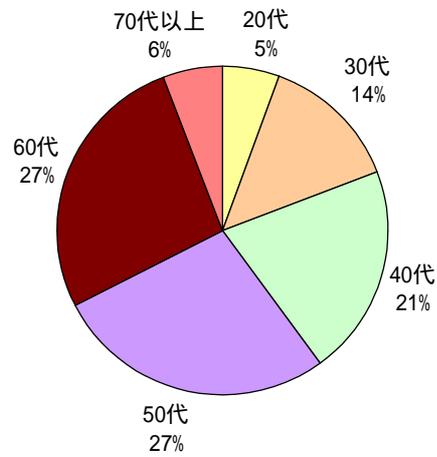


図 1-23 行き先県別 観光目的で北陸圏を訪れた人の北陸圏を訪れた回数

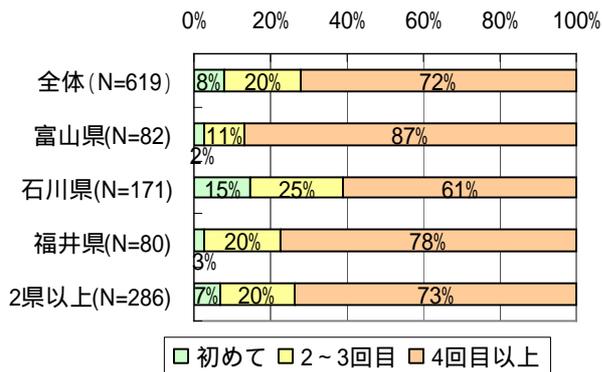


図 1-24 行き先県別 ビジネス目的で北陸圏を訪れた人の北陸圏を訪れた回数

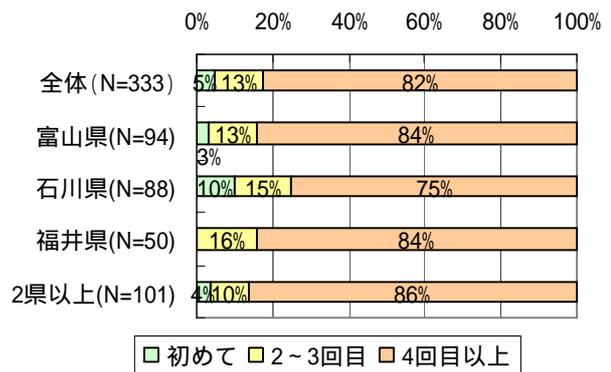


図 1-25 発地別 観光目的で北陸圏を訪れた人の北陸圏を訪れた回数

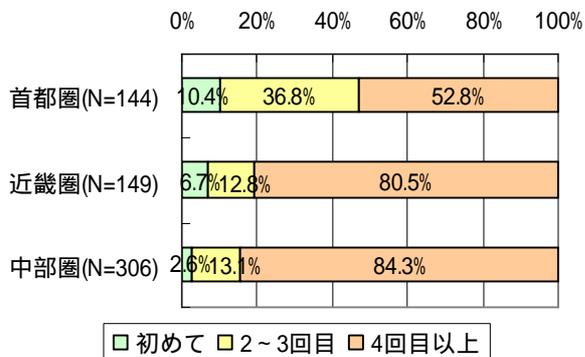
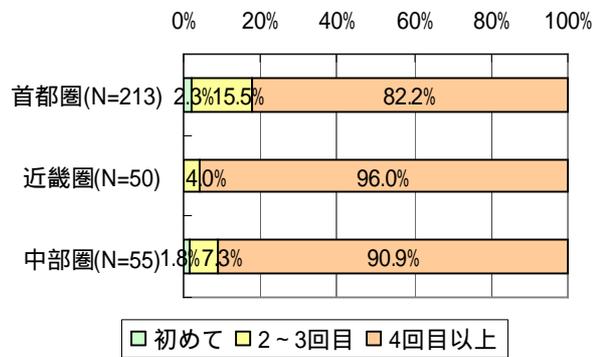


図 1-26 発地別 ビジネス目的で北陸圏を訪れた人の北陸圏を訪れた回数



北陸新幹線開業後の来訪機会の变化

図 1-27 北陸新幹線開業による北陸圏訪問機会の变化

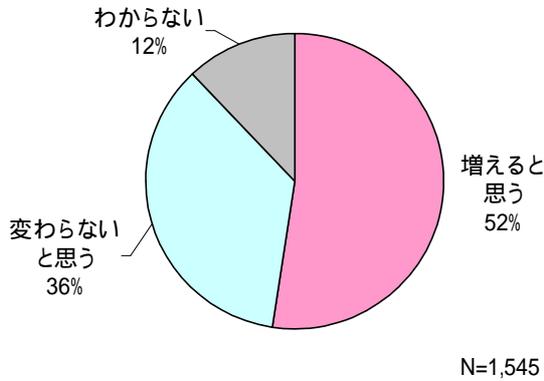


図 1-28 滞在圏域別 機会の变化

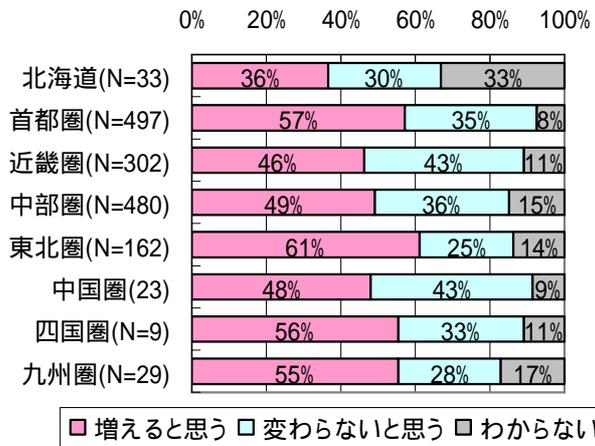


図 1-29 三大都市圏の北陸新幹線開業により増える来訪の目的

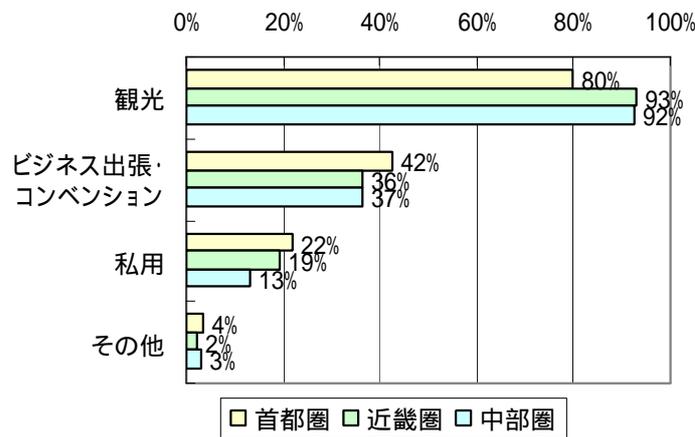


図 1-30 北陸での二地域居住の需要

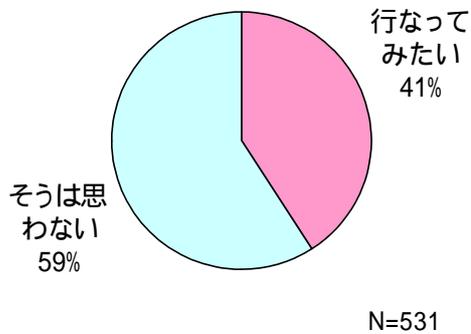
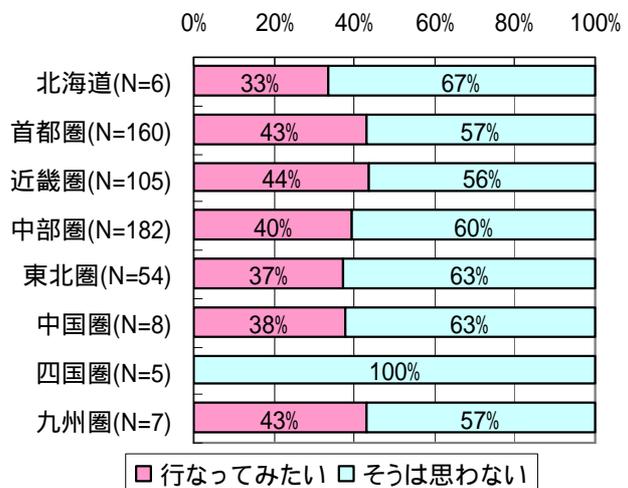


図 1-31 北陸新幹線の開業・東海北陸道の全線開通による北陸圏での二地域居住の需要



北陸三県における周遊特性（観光が主目的の場合）

図 1-32 黒部・宇奈月・魚津エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率



図 1-33 富山市・岩瀬・八尾エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

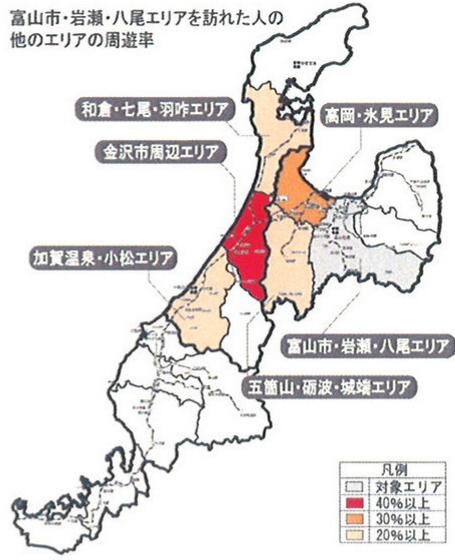


図 1-34 高岡・氷見エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

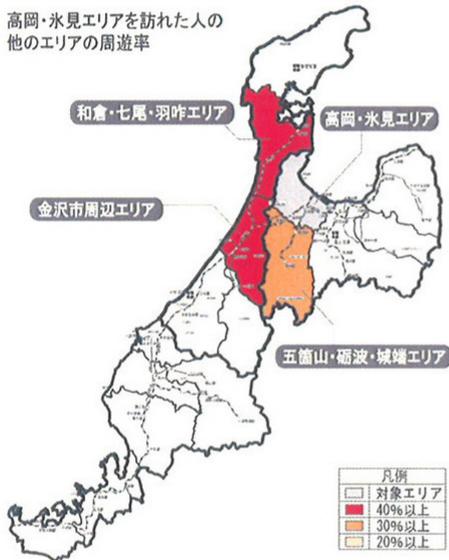


図 1-35 和倉・七尾・羽咋エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

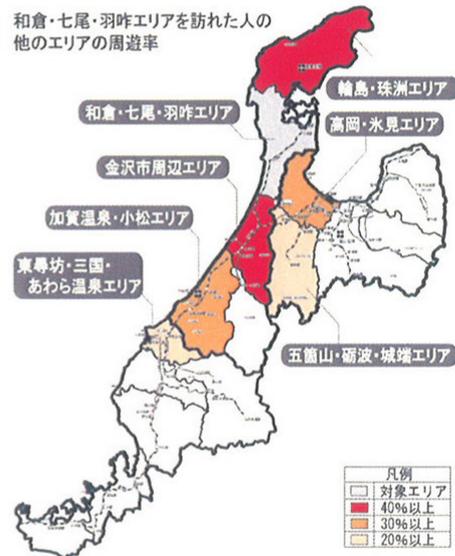


図 1-36 金沢市周辺エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

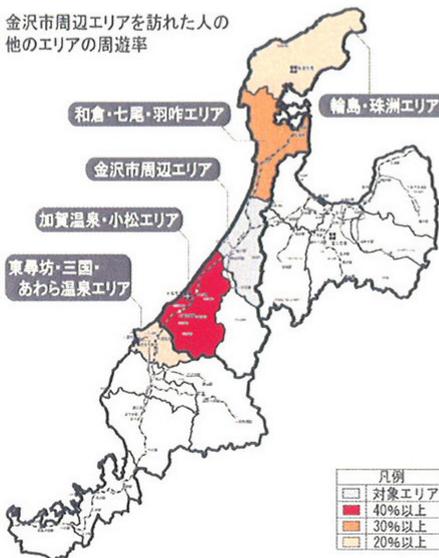


図 1-37 加賀温泉・小松エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

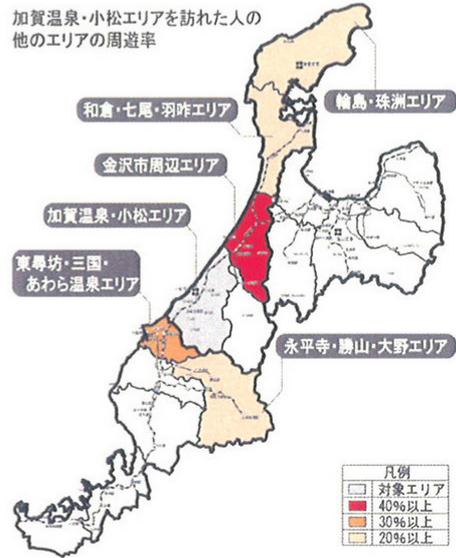


図 1-38 東尋坊・三国・あわら温泉エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

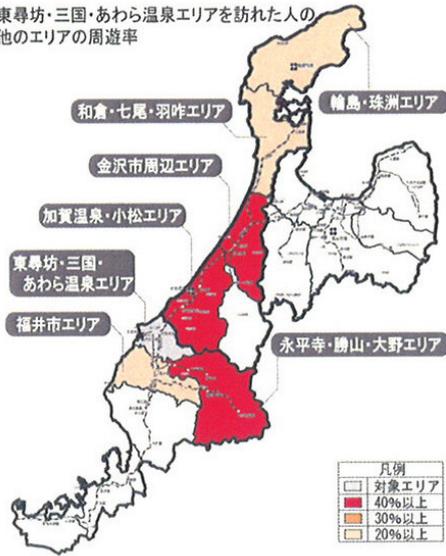


図 1-39 福井市エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

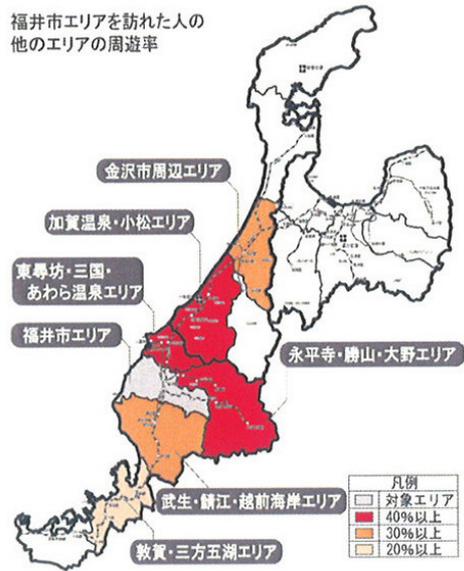


図 1-40 敦賀・三方五湖エリアを訪れた人の他のエリアの周遊率

